

【新校則のテーマ】

自ら考え、行動し、自分の未来を創造する校則を考える

～みんなが安心・安全に、気持ちよく生活できる荒中をつくろう～

【子どもの権利を踏まえ、生徒一人ひとりが大切にされる学校生活をめざして】

- ① 生徒が自己決定する過程を大事にする。
- ② 社会の変化を踏まえ、学校生活に必要であり、役立つきまりとなっているかを考える。
- ③ 地域・保護者に理解と協力を得る。

《①の取組》 子どもの権利 『参加する権利』

- 現状のきまりや校則について、見直しが必要なものがあるか、生徒、保護者のアンケート等の意識調査を実施する。
- 特別活動（学級活動）等の時間を活用し、全学級で話し合い、生徒会で話し合う場を設ける。

《②の取組》 子どもの権利 『育つ権利』

- 生まれ持った性質に対して配慮する。 (例) 地毛の色について、くせ毛など…
- 性の多様性に対して配慮する (例) 女子…スカート、男子…スラックス
- 健康上の問題に配慮する。 (例) 服装の選択に柔軟性のないもの
- 理由を説明できない内容については、見直しを検討する。 (例) 肌着、靴下の色柄等を指定する

《③の留意点》

- 学校のきまりや約束（校則など）を広く周知し、生徒・保護者・地域から理解と協力を得るためにきまりや約束（校則など）を学校のホームページなどで公表したり、学校だよりに掲載したりする。
- 学校評議員会等において地域の現状を踏まえた意見を聴取する。

制服の見直しに向けた計画の作成〈着こなしセミナー〉

制服の見直しに向けた一つの機会として、全校生徒向けに制服業者による「着こなしセミナー」を開催

【講演会の内容】

- ① 身をたしなむ…「笑顔」と「清潔感」に磨きをかけるポイントについて
- ② 制服に着こなし…TPOに合わせた、ふさわしい制服の着こなし方
- ③ 立ち居振舞い… 日々の基本動作を通じて、社会人としての心得について

【生徒の感想】

- ・制服を着る意味が分かった
- ・制服は大事だと思った
- ・面接などの見た目は本当に大切だなと思った。
これからはきちりした服装で学校生活を送りたい。
- ・今までは自己中心的な着こなしが良いと思っていたけれど、これからは本当のかっこよさを意識したい。
- ・これからは校則を通じて、正しいTPOを身に付けたい

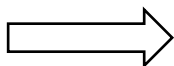
現状の把握（生徒、保護者アンケート）→ 制服の見直し案

〈 制服に関するアンケート結果 〉

- ・ 「制服を変えてほしい」と答えた生徒…80%
- ・ 理由は、LGBTQが中心となる意見が多かった
- ・ 制服の柄は、男女同じがいい…75%
- ・ 荒牧中学校のイメージカラーの水色を取り入れてほしい
- ・ 荒牧中学校の近くに 「荒牧バラ公園」があるので、バラの柄を入れてほしい

〈 校則に関する生徒・保護者アンケート結果 〉

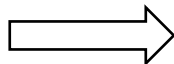
靴は白色のみ



色の指定はなし

- ・ 学校用の白靴とプライベート用の靴と両方用意しないといけない
- ・ 同じような色だと他の人のと間違えるから
- ・ 白い靴は汚れが目立つから毎回洗わなければならない
- ・ 白である意味がないように感じる
- ・ 白のみだと履ける靴が限られる
- ・ 華美でない色なら色の選択肢がいくつかあった方がいいと思う

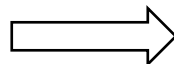
靴下は白のみ



白、黒、紺、グレーの4色に

- 学校のものと同様使うものを同じにしてくれると、経済的に助かる
- 白い靴下は汚れが目立つので濃い色にしてほしい
- 白色より紺や黒の方が制服に合っていると思う
- 黒、紺なら冬に暖かい素材のものもあるので良い
- 色だけの見直しではなく、ワンポイントと言わずデザインのものでも良いと思う

肌着は白のみ



白、ベージュ、黒も可

- 白色は逆に透けやすい
- 下着の白色はなかなかなく、色付きの下着は白い肌着だと透けるのでいやだ
- 夏服だと肌着のラインも見られているようで気になる
- 白色だと着替える時に下着が透けるので人目が気になる

髪型



男女で統一のルールとし、学習の妨げにならない、オフィシャルの場として適切なものとする

- ツーブロックは可とする。ただし、刈り上げは6ミリ以上とし、過度な刈り上げは避ける。アンバンヘア、アシンメトリー、モヒカン、スキンフェードは不可。
- 肩までの髪型のーフアップ、ピンを使用しないお団子ヘアは可。ただし髪をくくる位置は耳の高さをこえないようにし、帽子をかぶることができるようにする。

見直しに向けた体制づくり、意見聴取

- 校則に関する検討委員会等の校内体制づくり（管理職・生徒指導・教務・研究・生徒会本部役員）
- 校則を見直す話し合いに、生徒が主体的に参画することは、校則の意義を理解し、自ら校則を守ろうとする意識へと繋がる
- 全校生徒が協議に参画できる仕組みを構築し、校則について協議する場を設ける。
- PTA や学校運営協議会等で、見直しに向けた意見交換を行う。

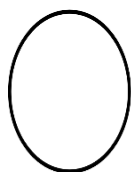
制服のボタンのデザインの公募

荒牧中学校のボタンデザインをしよう！

2024年(令和6年度)春、荒牧中学校の制服が新しくなります
 たくさんのボタンデザインの応募の中から、5つのエントリーデザインが出そろいました。「これが荒中の制服ボタンにふさわしい!」と思うものに、投票してください。
 締め切りは、5月25日(木)です。

荒牧中学校のボタンデザインを考えて応募しよう！

2024年(令和6年度)春、荒牧中学校の制服が新しくなります。そこで、新制服につけるボタンデザインを募集します!
 みんなの想いをカタチにします! ぜひ、どしどしご応募ください!



※色は2色までをお願いします。

▼参考デザイン例



学年 クラス	名前
-----------	----

KANKO 兵庫県公立学生服株式会社

1



<理由>

日本の桜をモチーフに学校名を英語表示にしたら格好いいし、外国の人にも分かり易く覚えてもらえそうだから。

2



<理由>

校章はいろいろ残したいところがあるので残し、学校の近くにはバラ公園があるのでバラを入れました。

3



<理由>

伊丹市にはたくさんの池があつてよくカモを見ます。カモは渡り鳥でいろいろなところへはばたきまふ荒牧中学生は卒業してはばたくことでこのデザインにしました。

4



<理由>

ぱっと見ただけで荒牧中学生だとわかってもらえるように荒牧の荒を大きく書くようにしました。またJunior High Schoolを略してJ.H.S.と書きました。

5



<理由>

荒牧といえばバラかな!と思ったからバラのつぼみを書きました。バラのトゲは反抗期や思春期を、つぼみなのは成長途中の私達を表しています。

【新しい校則に携わった生徒会本部役員たちの感想】

- ・校則を自分たちで考える大変さがわかった。
- ・みんなで作った校則を、みんなで大切に守っていきたい。
- ・自分たちの意見を聞いて、取り入れてもらったのでうれしかった。
- ・みんなが今より学校に行くのが楽しいなって思ってくれたり元気になってくれたらうれしい。
- ・今まで校則は先生たちだけで決めるものだと思っていたけど、自分たちの意見が取り入れられて嬉しかった。これからも、自由に意見が言えるといいなあ。